

県民の森の植物 67

ヒトツバカエデ (ムクロジ科)

「一葉楓」と書き、カエデの仲間ですが、葉に一般的なカエデ特有の深い切れ込みがないので、葉だけ見るとカエデの仲間には見えません。大きなハート形の葉っぱで、別名、まるい葉の形から「マルバカエデ」とも呼ばれています。

特筆すべきは、芽吹き之美しさ。淡いピンク色で、フェルト生地のような柔らかな手触りは、声をあげてしまうほどの愛らしさです。花や実の季節になると、カエデの仲間だと一目でわかります。花はぶら下がらずに穂状に直立するタイプ。花が終わるとあのカエデ特有のプロペラのような実が出来ます。

驚くべきは秋の紅葉。葉っぱが緑色の間は、ほとんど目立たちませんが、ヒトツバカエデは美しいレモンイエローに色付き、森のなかで突然輝き出すのです。初めて出会った時の驚きは、いまでも忘れることがありません。落ち葉もまた美しく、いつまでも心に残ります。踏みしめて歩くのは、この時期限定の何よりの贅沢です。

県民の森では、園内の林縁部分や七滝登山道下部に多く自生しており、その美しさを堪能することができます。



実付きの落ち枝 2022/10/14



落ち葉 2022/10/19



芽吹き 2022/4/25



花 2022/5/27



若い実 2022/7/4



黄葉 2022/10/27